

### 第 37 回会長の時間 RYLA につきまして 平成 29 年 5 月 11 日

今年のゴールデンウィークは、晴天に恵まれ、旅行にでかけられた方も多いと思います。さて、RI におきまして 5 月は、青少年奉仕月間であります。前回の会長の時間でまだ触れていない RYLA（ライラ）につきまして本日はお話致します。RYLA とは、Rotary Youth Leadership Awards の略語で、ロータリー青少年指導者養成プログラムのことで、ロータリーが、若者たちのために実践する研修プログラムの 1 つです。RYLA の対象となるのは年齢 12～30 歳の少年ですが、多くのクラブや地区では、12～18 歳、19～30 歳など、年齢層を絞って実施しています。イベントは、1 日のセミナーや 3 日間～1 週間の合宿など、目的、リソース、参加者の種類によってさまざまな形で実施されています。イベントの目的も、家庭に問題を抱えた青少年を支援するためや、インターアクトやロータリーアクトのリーダーシップ能力を高めるためや、ロータリー学友とのつながりを広めたり、職業人のリーダーとなる人材を育てるなど多岐にわたります。

2710 地区の RYLA は、東年度では、2015 年 11 月 14 日から 1 泊 2 日で、萩 RC をホストクラブとして萩のセミナーハウスで開催されました。テーマは「至誠・原点に立ち戻りリーダーシップを学ぼう」で 106 名の参加がありました。

田原年度では、2016 年 10 月 1 日から 1 泊 2 日で福山 RC をホストクラブとして福山大学体育館で開催されました。テーマは、「健全なる精神は健全なる身体に宿る」で、チームに分かれて、スポーツ雪合戦をし、スポーツから学ぶリーダーシップを学びました。初めてのスポーツ RYLA で、120 名の参加者でした。前日のセミナーでは、PEP TALK の話がありポジティブな声掛けの講演があったそうです。

RYLA のいわれは、1959 年オーストラリア・クィーンズランド州の自治権獲得百周年記念祝賀会に、英国のエリザベス女王が招待を受けた際に、アレクサンドリア王女を代理として派遣されました。これを機会に王女と同世代の青年たちを招き、王女と会う機会を作ろうという計画が持ちあがり、オーストラリア中から集まった青年リーダーたちのホストをブリスベンロータリークラブがつとめました。青少年の資質の良さに感心したロータリアン達は、この催しを毎年行う事を決め、各クラブ 2 名ずつの青年を選んでブリスベンに招待し、1 週間、文化・社会・教育プログラムに参加させることにしました。

こうして RYLA は第 26 地区（現在の第 960 地区）で生まれ、そして 1971 年には RI にとり上げられ、RYLA「ロータリー青少年指導者養成プログラム」として位置付けられ、世界的なプログラムに発展しました。1973 年にはアメリカで、1974 年にはフランスで、さらに 1976 年には日本でも始められました。日本初の RYLA

は、当時の第 366 地区（大阪・和歌山地区）でした。

RYLA では、若い人々とロータリークラブ会員が共に時間を過ごし、指導力、奉仕の精神を伝え、友愛を深めることができます。青少年の中で一番年上のローターアクトが中心となり、チームワークを組んで討論する光景は、私たちロータリアンにとっても良い刺激となり、若者たちと一緒に達成感が得られます。青少年を育成し、そしてその青少年からリーダーシップを持つ指導者を養成していくというこの RYLA の事業は、ロータリーに欠かせない事業であり、今後も継続して行かなければいけない事業だと思えます。

本日は、RYLA につきましてお話ししました。